

日本伝熱学会関西支部伝熱技術フォーラム平成30年度第2回例会

化学工学会エネルギー部会熱利用分科会研究会 共催

## 「国際水素サプライチェーンの実現に向けた取り組みと、『水素コージェネレーションシステム（CGS）活用スマートコミュニティ技術開発事業』実証施設の見学」の報告

日時：平成30年10月29日（月）13:30～16:30

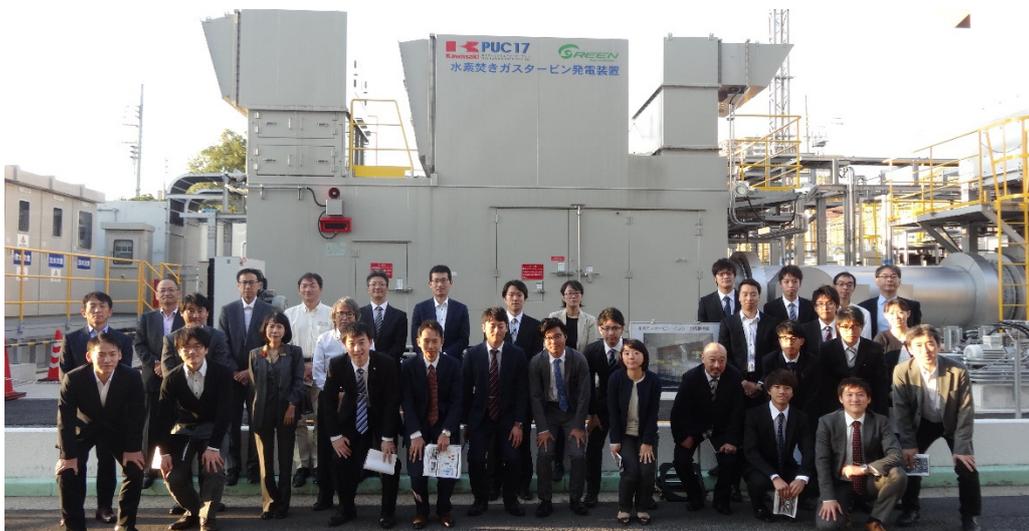
場所：神戸水素コージェネレーションシステムエネルギーセンター  
（〒650-0046 兵庫県神戸市中央区港島中町8丁目3）

伝熱技術フォーラム平成30年度第2回例会を化学工学会エネルギー部会熱利用分科会研究会と共催致しました。今回は、国際水素サプライチェーンの実現に向けた取り組みと、『水素コージェネレーションシステム（CGS）活用スマートコミュニティ技術開発事業』実証施設の見学を行いました。実証施設は、世界で初めて市街地で水素を燃料としたガスタービン発電によって、熱と電気を近隣施設に供給するエネルギー供給システムの実証試験を本年に実施された施設です。

講演会では川崎重工業株式会社の井上健司氏に「国際液化水素サプライチェーンの実現に向けた川崎重工の取り組み」と題したご講演をして頂き、水素利用の動き、サプライチェーンのコンセプト、インフラ技術ならびにプロジェクトの展開についてご紹介頂きました。また、水素ガスタービンの開発と実証プロジェクトへの取り組みについて、実証設備の見学とともにご説明頂きました。本会に30名にご参加頂き、活発な議論が交わされました。講演会后、意見交換会を開催し、12名の出席者により引き続き活発な意見交換が行われました。



井上 講師



集合写真